

【生活維持に係る支援】

国民年金保険料の免除

- 感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民年金保険料の免除
- 対象者：国民年金の被保険者（中長期在留者等の外国人を含む。）

電気・ガス・電話・水道料金、NHK受信料の支払猶予等の要請

- 感染症の影響により、電気・ガス・電話・水道料金、NHK受信料の支払に困難な事情がある契約者につき、その置かれた状況に配慮し、料金の支払の猶予等について、柔軟な対応を行うことを事業者に要請
- NHK受信料について、相談窓口を設置するとともに、負担軽減措置を実施
- 対象者：電気・ガス・電話・水道・NHK受信契約の契約者（中長期在留者等の外国人を含む。）

公営住宅等の入居者等への柔軟な対応

- 公営住宅について、事業主体に対し、既入居者に対する家賃支払の猶予、家賃減免等の負担軽減措置や、入居希望者に対する保証人の免除など、入居要件の弾力的取扱いなどの柔軟な対応を要請
- UR賃貸住宅について、生活困窮者に対する行政窓口の紹介や、滞納家賃の分割支払の協議など、柔軟な対応を実施
- 対象者：公営住宅・UR賃貸住宅の入居者・入居希望者（中長期在留者等の外国人を含む。）

生活保護

- 現に生活に困窮している方に、最低生活の保障と自立の助長を図ることを目的として、困窮の程度に応じて生活費、住居費等の必要な保護を実施
- 対象者：資産、能力等全てを活用してもなお生活に困窮する方（外国人のうち、適法に日本に滞在し、活動に制限を受けない者（永住者、定住者、日本人の配偶者等及び永住者の配偶者等の在留資格を有する者、特別永住者、入管法上の認定難民等）に限る。）

高等教育修学支援

- 家計が急変した学生等に対する授業料減免や給付型・貸与型奨学金を通じた支援
- 対象者：授業料等の支払が困難である学生（外国人のうち、特別永住者、永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者のうち永住する意思があると認められた者を含む。外国人留学生については、別途奨学金制度を通じて支援）

【事業継続に係る支援】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

- 地方自治体実施する感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けた地域経済、住民生活の支援等

国税・地方税の納税・徴収の猶予制度

- 1年間、納税・徴収が猶予（分割納付）される制度（状況に応じて更に猶予が延長できる場合がある。）
延滞税（金）が軽減され、担保の提供が不要となる場合がある（国税については原則不要。地方税については都道府県、市町村の窓口にお問合せください。）
- 対象者：新型コロナウイルス感染症等の影響により、一時に納税することが困難な者（中長期在留者等の外国人を含む。）

【就労に係る支援】

雇用調整助成金等

- アルバイト等、雇用保険被保険者でない労働者の休業への助成金支給対象の拡大
- 令和5年2月及び3月の休業等の日額上限額は8,355円、助成率は最大2/3
- 対象：感染症の影響を受ける事業主（中長期在留者等の外国人、外国人を雇用する者を含む。）
※雇用調整助成金等のコロナ特例は、昨年度末をもって終了しました。令和5年4月以降の休業等については、支給要件を満たせば通常制度の利用が可能です。

【就労に係る支援】

新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金

- 新型コロナウイルス感染症の影響により休業させられた中小企業の労働者と大企業に雇用されるシフト制労働者のうち、休業手当の支払を受けることができなかった労働者に対して支給
令和5年2月及び3月の休業について、休業前賃金の60%を支給
※日額上限は8,355円、休業実績に応じて支給
※申請期限は令和5年5月31日です。
 - 対象者：新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための措置の影響により休業させられた中小企業の労働者と大企業に雇用されるシフト制労働者等のうち、休業期間中の賃金（休業手当）の支払を受けることができなかった労働者（雇用保険の被保険者でない方も対象であり、中長期在留者等の外国人を含む。）
- ※新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金は、昨年度末をもって終了しました。申請期限を過ぎると受付できませんのでご注意ください。

新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応支援金

- 小学校等の臨時休業等に伴い、子どもの世話をを行うために、契約した仕事ができなくなった委託を受けて個人で仕事をする保護者に対し、仕事ができなかった日について、以下の額を支給。
令和4年12月～令和5年3月：1日当たり4,177円（定額）
 - 対象：次の①又は②の子どもの世話をを行うことが必要となった、委託を受けて個人で仕事をする保護者
 - ①新型コロナウイルス感染症に関する対応として、臨時休業等した小学校等に通う子ども
 - ②新型コロナウイルスに感染した子ども等、小学校等を休むことが適当と認められる子ども
 - 対象期間：仕事ができなかった日が令和4年12月1日から令和5年3月31日までの期間分
- ※新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応支援金は、昨年度末をもって終了しました。申請期限（令和5年5月31日）を過ぎると受付できませんのでご注意ください。

雇用保険の求職者給付

- 失業された方が、安定した生活を送りつつ、1日も早く再就職出来るよう求職活動を支援
- 対象者：雇用保険の被保険者であって、受給要件を満たす者（中長期在留者等の外国人を含む。）

【雇用維持・事業継続に係る支援】

雇用調整助成金等

- アルバイト等、雇用保険被保険者でない労働者の休業への助成金支給対象の拡大
- 令和5年2月及び3月の休業等の日額上限額は8,355円、助成率は最大2/3
- 対象：感染症の影響を受ける事業主（中長期在留者等の外国人、外国人を雇用する者を含む。）
※雇用調整助成金のコロナ特例は、昨年度末をもって終了しました。令和5年4月以降の休業等については、支給要件を満たせば通常制度の利用が可能です。

新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金

- 小学校等が臨時休業等した場合等に、その小学校等に通う子どもの保護者である労働者に有給休暇を取得させた事業主に対して、支払った賃金額の10/10を助成
助成金の日額上限は、令和4年12月～令和5年3月に取得した休暇：1日当たり8,355円
- 対象：次の①又は②の子供の世話を保護者として行うことが必要となった労働者に対し、労働基準法上の年次有給休暇とは別途、有給（賃金全額支給）の休暇を取得させた事業主
①新型コロナウイルス感染症に関する対応として、臨時休業等した小学校等に通う子ども
②新型コロナウイルスに感染した子ども等、小学校等を休むことが適当と認められる子ども
- 対象期間：令和4年12月1日から令和5年3月31日の間に取得した有給の休暇分
- ※新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金は、昨年度末をもって終了しました。申請期限（原則令和5年5月31日）を過ぎると受付できませんのでご注意ください。

両立支援等助成金（育児休業等支援コース（新型コロナウイルス感染症対応特例））

- 小学校等の臨時休業等により子どもの世話をする労働者が利用できる特別有給休暇制度及び両立支援制度を整備し、有給の休暇を取得した労働者が生じた事業主に対して助成
労働者1人当たり 10万円
※1事業主当たり10人まで支給（上限100万円）
- 対象：新型コロナウイルスの影響による小学校等の臨時休業等により子どもの世話をする労働者が利用できる特別有給休暇制度及び両立支援制度を整備し、有給の休暇を1日以上取得した労働者が生じた事業主
※令和5年4月以降に取得した休暇が対象
※年間7日以上取得できる制度であることが必要
※法定の年次有給休暇等とは別の休暇制度であることが必要

両立支援等助成金（介護離職防止支援コース（新型コロナウイルス感染症対応特例））

- 介護のための有給の休暇制度を設け、仕事と介護の両立支援制度の内容を含めて社内に周知し、当該休暇を合計5日以上労働者に取得させた中小企業事業主に対して助成
労働者1人当たり
取得した休暇日数が合計5日以上10日未満 20万円
取得した休暇日数が合計10日以上 35万円
※1中小企業事業主当たり5人まで支給
- 対象：新型コロナウイルス感染症への対応として利用できる介護のための有給の休暇制度を設け、当該制度を含めて仕事と介護の両立支援制度の内容を社内に周知し、労働者に当該休暇を取得させた中小企業事業主
※所定労働日の20日以上取得できる制度であることが必要
※法定の介護休業、介護休暇、年次有給休暇とは別の休暇制度であることが必要

新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置による休暇取得に係る助成金

- 新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置として、医師等の指導により、休業が必要とされた妊娠中の女性労働者が取得できる有給の休暇制度を整備し、一定の休暇を取得させた事業主に対して助成
- 対象：事業主（新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置として、医師等の指導により休業が必要とされた妊娠中の女性労働者に有給（年次有給休暇で支払われる賃金相当額の6割以上）の休暇制度（年次有給休暇を除く）を整備し、社内に周知し、当該休暇を取得させた場合）
- 制度導入に係る助成（※経過措置）：制度を整備・周知し、5日以上の休暇取得者が出たとき 15万円（1回限り）
- 制度利用に係る助成：20日以上の休暇取得者が出たとき 1人当たり 20万円（5人まで）

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

- 地方自治体が実施する感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けた地域経済、住民生活の支援等

【事業継続に係る支援】

日本政策金融公庫による低利・無担保融資

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて業況が悪化した中小企業・小規模事業者等に対し、低利・無担保で融資を行う日本政策金融公庫による新型コロナウイルス特別貸付を実施。
- 対象：中小企業、小規模事業者（外国人を雇用する企業を含む。）等、フリーランスを含む個人事業者（中長期在留者等の外国人を含む。）

日本政策金融公庫による資本性劣後ローン

- キャッシュフローが不足するスタートアップ企業や一時的に財務状況が悪化した企業再建に取り組む持続可能な企業に対して、日本政策金融公庫において、長期間元本返済がなく、民間金融機関が自己資本とみなすことができる資本性劣後ローンを供給
- 対象：中小企業、小規模事業者（外国人を雇用する企業を含む。）等、フリーランスを含む個人事業者（中長期在留者等の外国人を含む。）

【税制措置、支払猶予等】

国税・地方税の納税・徴収、厚生年金保険料等の納付の猶予制度

- 1年間、納税・徴収等が猶予（分割納付）される制度（状況に応じて更に猶予が延長できる場合がある。）延滞税（金）が軽減され、担保の提供が不要となる場合がある（国税、厚生年金保険料等については原則不要。地方税については都道府県、市町村の窓口にお問い合わせください。）。
- 対象者：新型コロナウイルス感染症等の影響により、一時に納税、納付することが困難な者（外国人を雇用する企業を含む。）

電気・ガス・電話・水道料金、NHK受信料の支払猶予等の要請

- 感染症の影響により、電気・ガス・電話・水道料金、NHK受信料の支払に困難な事情がある契約者につき、その置かれた状況に配慮し、料金の支払の猶予等について、柔軟な対応を行うことを事業者に要請
- NHK受信料について、相談窓口を設置するとともに、負担軽減措置を実施
- 対象者：電気・ガス・電話・水道・NHK受信契約の契約者（外国人を雇用する企業を含む。）